

平成 19 年 5 月 7 日

各 位

東京都文京区白山五丁目 1 番 3 号

株式会社ビーマップ

代表取締役社長 杉野 文則

(大証ヘラクレス：4316)

問合せ先：経営企画部長 大谷 英也

(電話 03-5842-5033)

## 経営改革の取り組み等に関するお知らせ

本日付で発表したとおり、当社の連結業績予想は昨年に引き続き修正を余儀なくされております。こうした状況を踏まえ、当社として抜本的な経営改革が必要である旨認識し、当社取締役会において以下の方針に従って推進することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### ◇ 改革の目的

当社は、新規事業への取り組みや、事業の発展に伴う M&A 等にも積極的に取り組んだ結果、重要な事業を担うグループ会社が増加し規模も拡大いたしました。その一方、経営・管理においては、平成 14 年 1 月の現ヘラクレス上場に向けて整備した体制で取り組んでおり、様々な面で対応が遅れがちになっております。このため、当社グループの組織拡大に合わせた経営方針・経営手法などのマネジメントに関する意識統一が十分になされておりました。

そこで、以下の施策により、当社グループの経営改革を実行し、組織及び事業、並びに利益の成長を目指すことといたしました。

#### ◇ 改革の概要

##### 施策 1：中長期事業計画の見直し

昨今の当社グループを取り巻く環境や業界・技術動向を踏まえ、従来の収益構造が変化していることを再認識した上で、グループが目指すビジョンを明確にし、合わせて各社・各部署の役割についても明確にするため、中長期事業計画の見直しを行い、事業推進のスピードの向上を図ります。

当社の事業によっては非常に長期間にわたり取り組む案件が多く、期初における単年度予算の設定が困難なものがあることを踏まえても、従来の予算設定には期待値が多く割り込んできたことは否定できません。また、期末に納期が集中する事業特性のため、業績変動の防止をいかに進めるかが極めて大きな経営管理課題となっております。新しい中長期事業計画のもと、従来以上に、予算の正確性と事業の進捗管理の水準を上げ、業績の安定成長を目指します。

## 施策2：コスト削減のリストラクチャリング

コスト構造の見直しにより、グループ内の重複コストや非効率的なコストの発生を排除し、利益成長に貢献することを目指します。

まず、原価については、余剰な社内工数が発生しないよう適正に管理するよう社内統制を整備するほか、4月27日付にて発表した組織変更に伴い、社長直轄の特命プロジェクト部に外注管理の機能を持たせ費用の圧縮を図ります。

また、販管費については、今年度は内部統制システムの構築など費用増の要因もありますが、役員報酬制度の見直しを皮切りに、全費目での削減策を実行して参ります。合計で前年比10%以上減を目標に実施いたします。

## 施策3：営業提案力の強化

営業提案力の強化は当社グループの従来からの課題であります。限られたリソースを有効に活用する観点から、効率的な組織体制と内部統制を整備・運用することで収益力を向上させます。

また、期末に納期が集中する事業特性に伴う変動リスクを軽減するため、時季要因の薄いビジネスモデルの比重を増やすことを経営課題として進めてまいります。

## ◇ 業績への影響

これら一連の改革による業績への影響は、5月14日に予定している決算発表時の今期業績予想の中に盛り込んだ上で公表させていただきます。

以 上